

## サステナビリティの取り組み

公正で誠実な企業活動を通じて「持続可能な社会の実現」と「企業価値向上」の両立を図り、企業としての社会的責任を果たしていきます。

### ■サステナビリティ基本方針

#### サステナビリティ基本方針（抜粋）

シーシーアイグループは、企業理念に基づき、すべてのステークホルダーと責任ある対話を行い、公正で誠実な企業活動を推進し、「持続可能な社会の実現」と「企業価値向上」の両立を目指し、社会的責任を果たします。

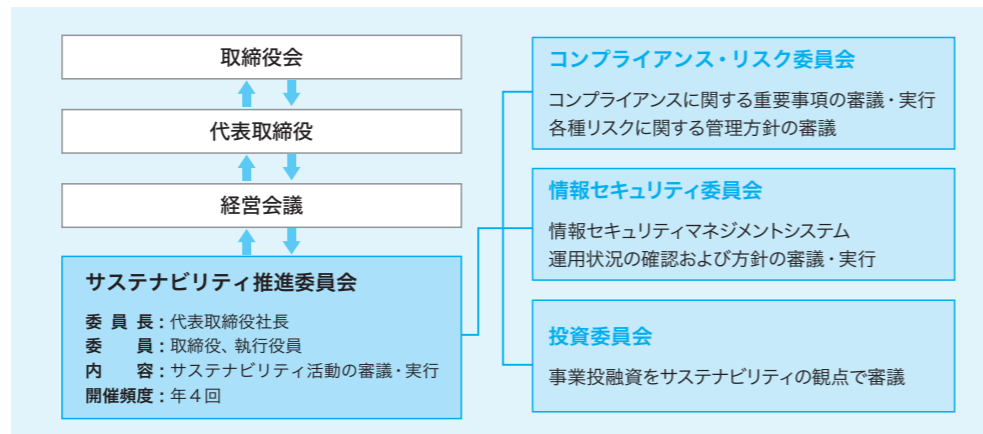
[WEB](#) サステナビリティ基本方針（全文）

### ■サステナビリティ推進体制

シーシーアイグループは、サステナビリティ活動を推進するにあたって、2022年4月に代表取締役社長を最高責任者とする「サステナビリティ推進委員会」を設置し、その下部組織として「投資委員会」「コンプライアンス・リスク委員会」および「情報セキュリティ委員会」の専門委員会を設置しました。定期的に委員会を開催し、各種の活動に取り組んでいます。

#### 委員会の開催

- サステナビリティ推進の取り組み
- グループのサステナビリティに関する活動方針策定
  - ESG、SDGs 活動のモニタリング
  - ステークホルダーへの情報発信と対話
  - 社内浸透
  - 取締役会への報告



#### 教育の実施

シーシーアイは、サステナビリティ経営を推進していくため、世の中の動向や当社の取り組み状況を知り、意識の向上に取り組んでいます。

- サステナビリティ基本知識研修
- ESG 研修
- ガバナンス研修



ガバナンス研修の様子  
(2022年12月)

#### 地域清掃活動の実施

シーシーアイは、地域社会との共生を図るために、地域清掃活動に積極的に取り組んでいます。

- 関工業団地内清掃活動
- 迫間川付近清掃活動

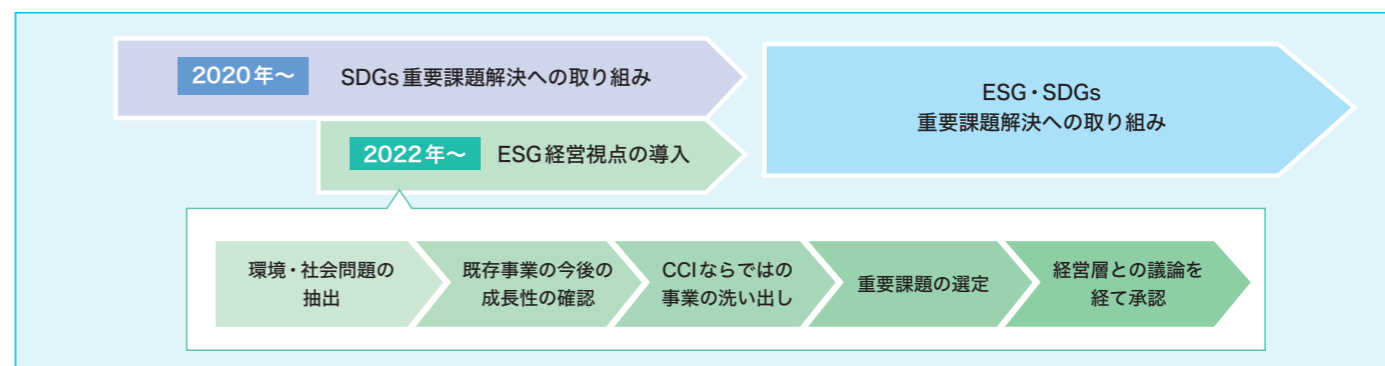


関工業団地内清掃活動の様子  
(2022年6月)

### ■シーシーアイグループのマテリアリティ

シーシーアイは、環境・社会・経済の変化や社会的課題を的確に把握、分析しサステナビリティ活動におけるマテリアリティ（重点課題）を選定しています。これらの課題を事業活動と結び付けるため、各部門のKPIとして設定し、世界の人々に安心・安全・快適な環境を提供し続けていきます。

### ■ESG優先課題特定のプロセス



### ■ESG優先課題

| 活動領域                  | 重要課題                              | 優先課題（具体的な取り組み）                                   | ESG | SDGs |
|-----------------------|-----------------------------------|--|-----|------|
| 事業活動                  | ●安心・安全・快適なモビリティ環境の提供<br>●静かな空間の創造 | 次世代モビリティ向け製品の開発                                  | E   | 9    |
|                       |                                   | 新たな技術を駆使した環境配慮型製品、サービスの提供                        | E   | 9    |
|                       | ●サーキュラーエコノミーへの移行                  | 使用済製品の回収～再資源化のビジネスモデルの構築                         | E   | 9    |
|                       |                                   | リサイクル可能な素材への切り替え                                 | E   | 12   |
|                       |                                   | 廃棄物の削減   | E   | 12   |
|                       | ●健康、生活の質向上                        | 特定化学物質、環境負荷物質の管理および使用の削減～使用ゼロ                    | S   | 3    |
| スポーツ振興を通じて地域社会貢献活動の推進 |                                   | S  | —   |      |
| 全社活動                  | ●CNの実現                            | Scope 1,2 対象 CO <sub>2</sub> 排出量 2019 年度比 30% 削減 | E   | 13   |
|                       |                                   | Scope 3 の算定、監視                                   | E   | —    |
|                       | ●多様な働き方の実現                        | 従業員エンゲージメントの向上                                   | S   | 8    |
|                       |                                   | 業務可視化とデジタル化による生産性向上、ペーパーレス化                      | S   | 8    |
| ●人権に対する取り組み           | 人権デュー・デリジェンス（人権 DD）の実現            | S  | —   |      |
|                       | サプライチェーンにおける人権の取り組み               | S  | —   |      |

サステナビリティの取り組み

ESG 優先課題と実績

達成率の凡例 ◎：達成率100%以上 ○：達成率80～100% △：達成率80%未満

| 活動領域                | 重要課題  | 優先課題（2030年度までの具体的な取り組み）                            | 2022年度KPIの達成状況                                | ESG                      |   |
|---------------------|---|--|---|--------------------------|---|
| 事業活動                | <ul style="list-style-type: none"> <li>安心・安全・快適なモビリティ環境の提供</li> </ul>  | 次世代モビリティ向け製品の開発                                    | 車両、航空機、船舶、住宅、ソーラーパネル等への環境対応製品の採用              | △                        | E |
|                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>静かな空間の創造</li> </ul>             | 新たな技術を駆使した環境配慮型製品、サービスの提供                          | 制振・吸音材導入による住環境の向上                             | △                        | E |
|                     |   |  | 制振・吸音材導入による住環境以外の環境の向上                        | ◎                        | E |
|                     |   |  | オイルバニッシュ（油脂分解微生物製剤）の拡販                        | △                        | E |
|                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>サーキュラーエコノミーへの移行</li> </ul>     | 使用済製品の回収～再資源化のビジネスモデルの構築                           | 廃棄LC、BF量（国内）の10%（1万kL）を回収、再資源化し活用             | △                        | E |
|                     |   |  | 使用材料の見直し・切り替え                                 | ○                        | E |
|                     |   |  | リサイクル可能な素材への切り替え（廃棄物の削減）                      | ◎                        | E |
|                     |   |  | 工場廃液量（2013年度）の50%を再資源化（削減を含む）し活用する            | △                        | E |
|                     |   |  | プラスチック削減の取り組み                                 | ○                        | E |
|                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康、生活の質向上</li> </ul>          | 特定化学物質、環境負荷物質の管理および使用の削減～使用ゼロ                      | 工程等の見直しによる特定化学物質・環境負荷物質の使用ゼロ                  | ◎                        | E |
| 管理体制の構築により有害物質使用ゼロ  |   |  | ○   | S                        |   |
| 全社活動                | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康、生活の質向上</li> </ul>   | スポーツ振興等を通じて地域社会貢献活動の推進                             | 文化・芸術・スポーツ活動への協賛                              | ○                        | S |
|                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>CNの実現</li> </ul>              | Scope 1,2対象CO <sub>2</sub> 排出量 2030年度に2019年度比30%削減 | CO <sub>2</sub> 削減エネルギー対策プロジェクト活動             | ◎                        | E |
|                     |   |  | Scope 3の算定、監視                                 | グローバルのScope 3算定を実施       | ○ |
|                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な働き方の実現</li> </ul>          | 従業員エンゲージメントの向上                                     | エンゲージメントサーベイのスコア向上<br>多様性の実現<br>職場環境改善、制度の見直し | ○                        | S |
|                     |   |  | 業務可視化とデジタル化による生産性向上、ペーパーレス化                   | デジタル化による生産性向上、ペーパーレス化を推進 | ○ |
|                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>人権に対する取り組み</li> </ul>  | 人権DDプロセスの構築  | CSR調達ガイドラインに則した、人権DDプロセスの構築を実施                | ○                        | S |
| サプライチェーンにおける人権の取り組み |   |  | サプライチェーンにおける人権の取り組みを推進                        | ○                        | S |

TOPICS ①

企業理念探究プロジェクト

シーシーアイでは、2022年6月に企業理念探究プロジェクトが発足し、プロジェクトメンバー25人で、会社の根幹となる企業理念を探究し、これから先語り継がれる新しい価値を見つけ、存在意義を言語化し、「理念の伝道師」となって浸透を図る方針を策定しました。各タスクにおいて、経営陣へ発表をし、経営陣の意向を確認し進めていきました。言語化のプロセスにおいては、メンバーの意見をまとめるために、何度も議論を重ねました。本プロジェクトを通して、自社の歴史や現在の強み・今後の課題、今後の進むべき方向性について学び、自社理念への理解を深めるとともに、全社視点での分析やタスク設計～遂行の仕方を学びました。今後は企業理念の浸透における施策を実施していきます。

再構築された企業理念

「新しい」を共創し、世界に安心・安全・快適を提供します

|                      |                          |                         |
|----------------------|--------------------------|-------------------------|
| Change<br>変革への<br>挑戦 | Create<br>お客様目線で<br>創意工夫 | Innovate<br>全員で<br>経営革新 |
|----------------------|--------------------------|-------------------------|

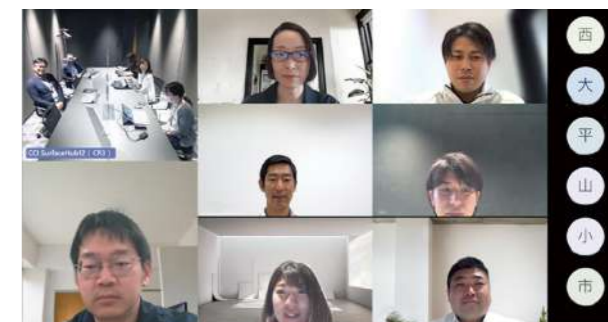


企業理念探究プロジェクトの様子  
(2023年1月)

TOPICS ②

サステナビリティ推進担当ミーティング

シーシーアイでは、2022年4月よりサステナビリティ経営の全社浸透を目的とした「サステナビリティ推進担当」による浸透活動を行っています。メンバーは各部署の代表者20名程で、月に1度「サステナビリティ推進担当ミーティング」を開催しています。ミーティングでは、自部署メンバーにサステナビリティについて理解、共感し、更に実践をしてもらうには、どのような浸透活動をすべきかを個人で考え、実際に行った推進活動、それにより得られた効果をメンバーで共有しています。また様々な教育に参加し、サステナビリティに関する基本知識の向上を図りました。参加型社会貢献活動も実施し、メンバーが積極的に自部署への呼びかけを行い、活動を推進してきました。今後もサステナビリティ経営の浸透活動に努めていきます。



サステナビリティ推進担当ミーティングの様子  
(2023年3月)

参加型社会貢献活動

- ペットボトルキャップの回収
- 衣類の回収
- 使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収
- トルコ・シリア大震災への支援（マッチングギフト）